

一九七七年二月一日第三種郵便物認可

発行所 社会通信社

発行人 滝野 忠

e-mail: shakatsushin@nifty.com

東京都渋谷区本町六丁目二八の二コーポル館ヶ谷九〇四 電話(03)33377-4649 FAX(03)3299-5367

振替 〇〇一〇〇一九一五八四三一 労金 中央労金本店 No.1154163

購読料 月額 700円 6カ月前納制

〈もくじ〉

■巻頭言■

職場の若者に闘いと団結を伝える

国労組合員・U……………2

国鉄分割民営化(JR発足)時の不当労働行為認定の大きな意味

施しものはいらない

滝野 忠……………3

—オバマの提案とキューバー—

マルクスの理論は今に生きている

訳・原 八峰……………5

—恐慌の必然性(二)「ノイエス・ドイッチェランド」から—

現実を理想に引き上げよう

山下 けいき……………6

—山下けいきからあなたへの手紙—

多忙化、時間外労働で悪循環

……………8

—滋賀県教組実態調査から—

あいは野に秘密裏にPAC3搬入

……………8

—防衛省の卑怯なやり方に強く抗議—

これからの労働運動の焦点

……………9

「派遣切り」を許すな!

土屋 信三……………11

—労働者は物ではない 広島からの報告—

地方の ささやかで

大きな変革!

赤峰 正俊……………13

—市長選で勝った 大分県豊後大野市から—

読者からのおたより

……………14

刊 旬 社 会 通 信

NO. 1048

二〇〇九年五月一五号

二〇〇九年五月一五日発行
(毎月一日・一五日二回発行)

職場の若者に闘いと団結を伝える

国鉄分割民営化（JR発足）時の不当労働行為認定の大きな意味

三月二五日、鉄建公団訴訟の控訴審判決が出された。一九九〇年の清算事業団からの解雇を有効とし、損害賠償において一部、一審判決から後退した不当な判決ではあるが、「不当労働行為の存在」を、①採用率に顕著な差がついた理由の一端には所属組合による不利益取扱があった、②国鉄は国労嫌悪・弱体化の意図を持っていた、という点から、一審判決よりも明確に認めた。

不当労働行為認定を政治解決にどう活かすか、また、「一括和解」で最近話られなくなったが、他の裁判でも認定されたJRの不当労働行為とあわせ、職場での闘いに活かすことが課題である。

判決は、不当労働行為の認定をしながら原告らの二十二年間の苦闘への救済にしてはあまりにも低い、一人五五〇万円という慰謝料にとどめたのか？ この点判決は、採用候補者名簿記載にあたっての差別がなければJRに採用されたであろうという因果関係を認めるだけの事情はないが、公正な選考がされれば名簿に記載される可能性があったにもかかわらず、不正な選考によって名簿に記載される可能性を断たれ、採用の可能性が侵害されたからだという。

加藤晋介弁護士は、この「因果関係」論こそが問題であり、労働委員会と違って裁判所では、それが個人別に要求される。「裁判所での救済の限界」を示した。だからこそ、南裁判長の認識は「法廷外での話し合い解決」であった。かつて最高裁は、労働委員会での救済命令を「清算事業団の責任であり、JRに責任なし」として取り消した（二〇〇三年一月二二日判決）が、清算事業団による損害賠償（五五〇万円）が労働委員会による救済（原状回復）に代わるものとはなり得なかったことに対し、「そのような構造を創った最高裁自身の責任を追及せざるを得ない。」つまり、政治の責任と並行して、最高裁の責任での解決を求めていく、と解説されている（「がんばれ闘争団ともにGO」No.99）。

闘争団の解決要求は「一人も路頭に迷わせない」ための「雇用・年金・解決金」であり、最高裁でも消えない不当労働行為が認定された以上、「四党合意」とは全く異なる、不当労働行為責任に基づく政府の責任による一刻も早い解決が求められる。職場の若い人にも、「国鉄改革」の真実と「労働者の闘い」を伝えていこう！

世間には、「国労の闘う路線が自滅を招いた」的な見方が多いようである。例えば、シリーズ日本近現代史⑨では、「政府内に労働組合つぶしの動きが強まり、国鉄民営化を促す・・・」と言いつつも、修善寺大会では分割民営化を容認しようとした執行部を退陣に追いやり、「国労は自壊へと向かっていった。」などと描かれている（岩波新書 吉見俊哉著「ポスト戦後社会」一七七〜一八〇頁）。

しかし真実は、中曽根元首相が「国鉄の民営化と国労の壊滅を狙っていた」（『文芸春秋』二〇〇五・一二）と言い、裁判で認定されたように、国鉄幹部がその実行指揮をとった。国労嫌悪の体質はJRにも引き継がれた。国労は自壊したのではなく潰されたのであるが、今、JR職場での少数派でありながらも、労働者の権利を守るために、どっこい奮闘している。真実を明らかにしながら、職場の若い人に、〃労働者の闘いと団結〃を伝えていこう。（国労組合員・U）

施しものはいらない

ーオバマの提案とキューバー

言葉だけの「協調」外交 オバマが大統領に就任して百日がたった。『猿の惑星』から飛来したかの前大統領はアメリカという国、そして世界を混乱の渦の中におとしいれた。オバマはブッシュを批判し大統領になった。

大恐慌と金融資本の動揺、唯一残った自動車産業の凋落、「裏庭」といわれた中米・カリブ海諸国・南米大陸の反米感情と民族独立運動の高まり、きわめつけはイラクそしてアフガニスタンの混乱、パレスチナ和平の行き詰まりだ。

ソ連崩壊はアメリカ一極支配をつくり、ブッシュは世界支配をめざした。それに対しヨーロッパ諸国はEU、共通の通貨「ユーロ」をつくった。それから約二十年、時代はまた動き出した。アメリカから「世界はアメリカ流につくられる、つくることができるとの覇気（はき）は消えうせた。お友だちの資本主義国の協力が不可欠となった。「協調」外交が強調される。

オバマは「お猿さん」が悪の中核といったイラン、パレスチナやレバノンのマスキミが「イスラム原理主義」という政治グループ、北朝鮮、そして五十年も経済制裁をつづけたキューバへの融和策を次つぎ発出しつづける。

きわめつけは「核兵器のない世界」を謳ってみせたロシアとの核軍縮計画だ。これはよいことだ。しかし、すべて言葉・演説だけで中味はまったくない。行動で示すことである。

はやくもほころび ほころびははやくもイラク、そしてアフガニスタン・パキスタン国境で現れた。米国防衛部隊の都市部からの撤退を定めた地位協定から約半年、「抗争」は激しくなり四月には十九名の米兵が戦死した。イラクの軍服を着た人物からの米兵殺害もふえている。撤退「修正」の動きが始まった。

アフガン・パキスタン国境では戦争拡大である。パレスチナ和平ではイスラエルに与みするオバマでは進展することはない。

キューバとベネズエラ ここではキューバへの融和策をみよう。オバマは四月半ば経済制裁緩和の第一弾として①キューバ系米人ーキューバからアメリカへの亡命者とそ

の子孫―の無期限の親族訪問、②送金規制の撤廃、③通信・報道の自由化を打ち上げてみせた。オバマの本当のネライは③でしかない。

キューバは五十年にもわたる経済制裁を耐え社会主義を維持、発展させてきた。オバマの新政策は、「北朝鮮と同様に資本主義文化からしや断されてきた結果だ。ソ連や東欧のように資本主義の消費文明を『教えて』やれば、いずれもキューバも変わり資本主義になびいてくる」とのアメリカ流の、金でほったをひっぱたくお粗末な自由と民主主義の考えに他ならない。

キューバは思想・理念をなによりも大事にする国だ。ベネズエラで社会主義の国づくりに着手したチャベスが「言論の自由」という資本主義社会の常識にまっこうから対決し、マス・メディアの規制・統制に全力をつくしているのはキューバから何が大事かを学んだ結果である。フィデル―カストロさんのこと、カストロさんはフィデル、総司令官といった愛称で呼ばれている―とチャベスは親友だ。チャベスは今日のベネズエラ、ラテンアメリカの情勢をつくりだした最大の同志として毎日のようにフィデルと語り合い、キューバ革命の経験から学びつづける。フィデルは一九九九年一月、カラカスのベネズエラ大学で新しい国づくりに大きな一歩を踏みだしたベネズエラ人にこう語りかけた。

「今現在は、私たち自身は、思想・理念の大規模な闘いに巻き込まれています。私たちの思想を世界中に喧伝すること、これが私たちの現在の仕事です。『キューバを見習って革命を起こすべきだ』などと発言することなど、とうていできない状況にあります。現在の状況を完全に把握していると自慢している私たちは『私たちがやったように行動すべきだ』とはとうてい言えないのです。

もしも時代背景が私たちの時代と同じだったら『私たちがやったように行動すべきだ』と言うでしょう。だが当時と現在の世界は全く異質になってしまいました。私たちの経験が役にたかない時代になったのです。それでも私たちは、なお一層知識を蓄え問題点を深く究明しており、ことあらば他者への敬愛と関心を払って真つ先に一番乗りする用意があります。』

時代は変わり始めた 今ではこのカストロの発言も修正されなければならない新たな情勢となった。一極主義が破たんし始めているからだ。中南米・カリブ海諸国でアメリカのお友だちはコロンビアとメキシコだけとなった。それは四月半ばおこなわれたOAS首脳会議に明瞭に示された。アメリカが参加を拒否するキューバが最大の課題となった。

キューバがアメリカに求めるのは経済制裁の全面解除だ。これでキューバはどれほどの被害を受けたか。キューバは七五〇億ドルとし、アメリカに補償を求める。オバマのラブコールに平手打ちをくわせるほどカストロ、チャベスはウブでない「引き算より足し算が大事」がカストロの世界観だ。

マルクスの理論は今に生きています

— 恐慌の必然性 (二) 「ノイエス・ドイチェランド」から—

『資本論』第三巻でのマルクスの未完の信用（金融）システム分析も、一九世紀より今日の方がより現実味がある。マルクスは成長した金融システムのない成長した資本主義経済は全く不可能であることを示しただけではない。「擬制資本」の分析において、彼はまた、将来の収益の「請求権」が取引されている金融市場が、いかにしてすべてを二倍にし、三倍にするかに傾注していることも実例で示している。すなわち、他の請求権に対する請求権を生み出すことに、負債をその流通を通して新しい資本に変身させることに、そしてその際、しばらく後には崩壊せざるをえない巨大な信用（金融）ピラミッドを築き上げることに傾注していることを。

「事実：工業および商業世界全体が、すべての文明諸国民の生産と交換が：およそ一〇年に一度支離滅裂になる。」— F. エンゲルス、マルエン全集一九巻、二一八頁

しかし、まずもってマルクスは資本主義的生産方法の危機（恐慌）をはらんだダイナミズムを分析し、それによって支配的な経済理論に対する決定的な対極を定式化（的確に表現）した。現代の資本主義は、人類の歴史の中でかつてない生産力の発展をもたらした最もダイナミックな生産方法であるというだけではない。それはその偏狭な目的、すなわち利潤の最大化を追求することによってのみ、このダイナミズムを達成するのである。

すでに、資本のこうした第一の、最も基本的な規定性（宿命）の中に、資本主義の恐慌との不可分性が組み込まれている。なぜなら利潤の最大化は基本的な矛盾を内包するからである。すなわち、一面では生産力の発展とそれに伴う生産の拡大、他面ではこれらの生産物の社会的消費能力の縮小—労働力を絶対に必要とする数量に制限すること、および賃金の引き下げ（抑制）によって—という矛盾を。社会的生産の総量と社会的消費の総量との間のこうしたギャップは、確かに資本主義的企業の投資によって埋められうる。しかしこうした投資は、将来高い利潤が期待される場合、およびこの将来の利潤が金融市場で予想される利益よりも高くなる場合にのみ行なわれる。

しかしこの両方の条件は繰り返し傷つけられるので、生産と消費の間の亀裂は恐慌の中に現れる。資本主義経済の中では、恐慌は「外部から」来た妨害の結果生じたものではない。原則的には避けうる業務上の事故のことでもない。そうではなくて、恐慌は資本主義それ自体によって繰り返し起こされる。その際、恐慌は職場を失った多くの人々にとっても、また破産した多数の企業にとっても壊滅的な影響を及ぼす。

しかし、資本主義経済にとって恐慌は全体として生産的な機能を持つ。破産に陥った企業は過剰な生産能力を縮小し、失業者数の増大によって賃金がより容易に抑制され、両者は残った企業の採算性を改善し、同時に企業の生き残りをかけた闘いは非効

率な構造の除去をもたらす。大規模な経済恐慌は規則的にイノベーションと近代化の推進力を伴ってやってくる。資本主義は必然性をもって恐慌をもたらすのみではなく、資本主義はみずからをさらに発展させるために、恐慌を痛切に必要としているのである。このプロセスを理解しようとするものは、このマルクスの分析への取り組みを避けて通ることはできないであろう。

『ノイエス・ドイッチュランド』三月十三日、訳・原 八峰

現実を理想に引き上げよう

―山下けいきからあなたへの手紙―

不安ばかりが広がる今の社会。
局地豪雨の多発、背景にある地球温暖化、
断層地帯に建てられた原発の数々・・・
口にする食べものさえ不安だらけです。

病んでいるのは環境だけではありません。
私たちの暮らしも不安と背中合わせです。
子育てに自信を持ってない親たち。
いい学校、いい会社と競争に追いつてられ
親も子もあえいでいます。
高い教育費も大きな負担です。
卒業しても正社員になれない若者たち。
仕事が見つかってても、続く競争。
格差、失業、貧困は他人事ではありません。
細る一方の年金や介護、そして負担が増す医療。
何の不安も感じない人は大金持ちだけです。

競争社会によるストレス、うつ病の多発。
毎年三万もの人々が自ら生命を絶っています。
それなのに競争を押し付けた側は
「すべては自己責任」と知らん顔。
私は、こんな社会はおかしい、変えたいと
言い続けてきました。

長いものにはまかれろ、寄らば大樹の陰が
無難とされ、当たり前前の社会。
異論を唱えれば、波風を立てるとうるさがられ、
「変った人」のレッテル貼りです。
時にはいじめや排除、不利益も
覚悟しなければなりません。
でもその無難な選択が窮屈な社会に
つながっているのではないのでしょうか。
今の社会に波風をたてないことによって、
おかしなことがまかり通り
私たちは苦しんでいるのではないのでしょうか。

私は、こう思っています。
人は、生まれも、生きてきた日々も違うのだから
思想信条や感覚が違って当然だと。
そして違っているみんなが、
それぞれの持ち味を活かして生きるから
世の中は楽しくすばらしいのではないかと。

憲法はいいいます。

・国民が政治の主人公（前文）。
・戦争と武力の行使は永久にこれを放棄する。
・すべて国民は、個人として尊重される。
・基本的人権は国民に侵すことのできない永久
の権利として信託されたものである。
私はこの憲法が大好きです。
そして憲法は私の原点であり、
私の応援歌でもあります。

四人の子どもを育てるのに必死だった父と母。
石川啄木の「働けど働けど我がくらし楽にならざりき。
ちつと手を見る」は庶民にとって今も昔も
実感ではないでしょうか。
人間らしく働き、自分らしく人生を楽しみ、
生きていることを感謝したくなるような社会。
ささやかな庶民の願いです。

そんな願いすらかなえられない今の社会。
ほんの少しづつでもいいから変えていきたい。
大きなことはできないけど、
理想を現実に取り上げたい。
現実を理想に引き上げたい。
そう思っ議員会や地域で活動してきました。
一人でもできること、少数でもできること、
そしてみんなの協力でできること。
とりあえず提言したこと、
少しでも前進したこと、
一挙に実現したのもの。
そのことを「お元気ですか」で、街角で、報告してきました。

時には、つまずいたり、間違ったり、
元気をなくすこともあります。
それでも、さまざまの出会いがあり、
多くの人に励まされてきました。
私が元気なことで、
いくらかでも元気を与えられたらうれしい。
ぜひ声をかけてください。
おかしいことがあったら、しかってください。
そんなつながりを力にして
これからも元気に活動していきます。

（大阪 茨木市議 山下けいき）

多忙化、時間外労働で悪循環

― 滋賀県教組実態調査から ―

県教組は、全組合員による〇八年一〇月の超過勤務実態調査を実施した。これは、四月からの改正労働安全衛生法の実施に伴い、毎月超過勤務時間を各自が記録するようになったため、教職員の多忙化の実態を把握し、超過勤務縮減に向けての資料として役立てようとするため、始めて行ったもの。最終的な回答者は、小学校七二二人、中学校二六一人になった。

結果によると、小学校で平均超勤時間が、四六時間、中学校で六〇時間だった。

また、月八〇時間以上の超勤をしている人が小学校で五〇人（七％）、中学校で七四人（二八％）。一〇〇時間以上という教職員も多く、これらは、文科省が一昨年調査した三四時間を大幅に超えていた。

今年度から全面適用された改正労働安全衛生法では、超過勤務が八〇時間を超えた場合、本人が疲労や健康不安を訴えれば、管理職は医師の面接指導を受けさせなければならぬ責任がある。しかし実際には面接医の予算化がされていなかったり、正直に報告すると、面接に時間をとられるので、控えめに報告している実態もある。また医師に面接する予定があっても突発的な問題の対応や指導などで、キャンセルしなければならず、代わりの日もなかなか取れない状況も生まれている。

精神的にも肉体的にも疲れて、特別休暇を取らざるを得ない教職員も年ねん増えており、後補充がなかなか見つからない中、定数減のまま学校運営がなされ、それがまた多忙化に拍車をかけるという悪循環になっている。

県教組は、これらの結果をもとに、昨年度末の確定交渉でも実態を訴え県教委に改善を求めた。さらに、〇八年一月一八日には、「超過勤務」の縮減に関する要望書を提出し、一月に交渉を持つ。現場からの悲痛な声を届け、具体的な目に見えるよ改善を求めたい。（滋賀教育新聞、〇九・一・二五）

あいば野に秘密裏にPAC3搬入

― 防衛省の卑怯なやり方に強く抗議 ―

連休に入る直前に密かに搬入して抗議行動が出来なくするという卑怯なやり方を、防衛省はとってきた。滋賀県高島市自衛隊あいば野演習場にPAC3を「今年二月から夏までに搬入」という発表だけを、事前に行なっていた防衛省。私たちは五月九日に反対のための学習会を計画していたが、その裏をかいたような手口。たいへんけしからんことだ。

私たちは昨秋、画期的な市民運動と平和フォーラムの近畿段階での共催集会を、日米合同軍事演習に反対して開催し、成功をおさめた。このPAC3配備にも再び共同

行動を計画していた。五月二日、直ちに両組織代表はあいば野現地まで飛び、抗議申し入れを「航空自衛隊あいば野基地」に対して行なう。抗議文は次の通り。

防衛大臣 浜田 靖一様

あいば野へのPAC3搬入に対する抗議

私たちは、平和憲法のもとで、近隣諸国との友好交流を中心に、外交努力によって世界の恒久平和に寄与することを願って運動をすすめています。

アメリカではオバマ大統領が誕生し、単独行動主義をあらため国際協調による外交の推進、イラクからの撤退、核兵器の廃絶など、これまでのブッシュ政権の流れとは違った方向を打ち出しています。

また、アメリカの金融危機に端を発した世界的な経済危機の中、アメリカ・ドルの相対的な地位の低下をもたらし、とりわけ経済統合が進む東アジアの相対的な地位が高まっています。日本はこれまでのアメリカ一辺倒の政策から、アメリカ・中国・アジアとどのように平和友好関係を築いていくかが問われています。

そのためにも、東北アジアの平和と安定は重要な課題であり、朝鮮の非核化の問題も六カ国協議の枠組みの中での政治的な解決が図られなければなりません。ロケット打ち上げに対する過剰とも言える反応と、ミサイル防衛では問題は解決しません。

四月二十八日、秘密裏にあいば野にPAC3が配備されました。当面の費用が一兆円、最終的には六兆円を超えるとも言われる膨大な費用がかかるミサイル防衛が、多くの技術的な困難を抱え、その有効性に疑問が持たれたまますすめられていくことは、納得できるものではありません。

さらに、米軍の軍事情報と一体的に運用されるシステムは、自衛隊が米軍と同じに見なされ、国際的な緊張関係を高めるだけです。

真の平和を築くのは、軍事力や武力でなく「対話」と「信頼」の関係です。「有事」の準備よりも「信頼」の醸成こそが重要だと考えます。

以上を踏まえ、PAC3のあいば野への配備に強く抗議するものです。

二〇〇九年五月二日

フォーラム平和関西ブロック 議長 富永 猛

あいば野に平和を！近畿ネットワーク 代表 野坂 昭生

これからの労働運動の焦点

○九春闘は「世界恐慌下」の春闘となりました。春闘は終了と報じられていますが、今年はまだほとんどが未解決、地域の仲間の春闘はこれからです。恐慌は資本主義社会に内在する基本矛盾の爆発であり、資本主義という古い社会体制にとって代わる新しい社会体制を対置してこそ、労働組合は本来の労働運動をたたかうことができるのです。

わが国の労働組合員は生産性三原則を押しつけられてしまいましたが、これはまったく時代おくれの経済学的見解、すなわち労働者は生産性向上に協力し企業の儲けの

度合いに応じて労働条件・賃金向上を勝ちとることができるといふ見解にもとづいています。

昨年秋、J P 労組長田支部（兵庫県）が「日本郵便非正規ユニオン」を結成したのに、J P 労組近畿地方本部は「こんなことはケンカラン」と次のように「指導」をおこなっています。

「J P 労組は生産性運動の精神に立脚し、郵政関連企業の成長・発展に寄与する運動を進めています。J P 労組は、郵政グループ各社と『労使パートナー宣言』を確認し、経営陣との信頼関係づくりと労使関係の構築をめざし取り組んでいます。これらは、企業内組合であるJ P 労組として、郵政グループの事業運営や経営等を共通認識・共通基盤にグループ各社の生々発展を期するための取り組みです。

しかし、日本郵便非正規ユニオンの母体である『武庫川ユニオン』がインターネット等で公表している運動路線や考え方は、私たちJ P 労組とは異なるものであります。こうした部外労組が私たちの職場に結成されたことは、当然にして利害関係が生じることとなり、『組合員の真の幸せづくり』のための運動をすすめる障害となります。」

生産性三原則にもとづく労働運動とは、ここに明瞭に語られてあるように、①資本の生産性向上運動への全面協力、②企業内労「使」関係の安定、③労「使」パートナー宣言というものです。ここでは労働組合によって労働者階級を階級として組織することについて、まったく一言も述べていません。しかも、これはきわめて大事な点です。なぜなら、労働組合はプロレタリアートの本来の階級的組織であり、その中で労働者が資本にたいする日常の闘争をたたかひぬき、自己を訓練する組織であるからです。なかでもとりわけ重要なのが資本主義的合理化に反対するたたかひと、資本主義的合理化の本質、さらには賃金とは何かを学ぶ学習のたたかひです。生産性三原則という資本の支払い能力論に屈服してしまった賃金論では労働者生活の向上を勝ち取れないことは、今年二十年目となった連合発足以来的の労働運動の歴史がくつきりとはつきりと一点の曇りもなく指し示しているではありませんか。

賃上げ自粛から始まった連合労働運動は「賃上げ」、「ベア」すら凍結し、定昇を「賃上げ」というまでに墮落し賃上げ概念すら「賃金改善」に変えてしまいました。これは資本が主張するワークライフバランスに労働組合が包み込まれてしまったことになりません。

今春闘最大の特徴は連合が「定昇も賃上げ」としたことに對し、資本が定昇を全面否定する賃金制度再構築に本格的に着手したことです。それは「年齢・勤続年数から仕事・役割・貢献度を柱とする」賃金制度というものです。これまで労働組合が主張した同一労働同一賃金を資本が主張し始めたのです。

このことの意味するものはなんでしょうか。資本は格差拡大を逆手にとって非正規労働者並の労働条件に正社員をしようとすることに他なりません。

マスメディアはカストロさんの片言隻句をとらえ柔軟になったとかなんとか世論づくりに精を出す。カストロさんの本心はオバマの提案は①中途半端、②責任逃れで不作法、③施し物には決して手を伸ばしはしないというものである。

「派遣切り」を許すな！

―労働者は物ではない 広島からの報告―

ふきあれる派遣切り

日本全国で吹き荒れている「派遣切り」が、広島の地でも猛烈な勢いで広がっている。とくに広島では、マツダの影響が大きく、マツダ本体のみならず、下請けや関連企業での解雇が相次いでいる。大げさな意味ではなく、すべての企業の派遣労働者が切り捨てられるのではないかとという危惧感がある。

たとえば、マツダの第一次下請けであるユーシン広島では、三八〇名ほどの外国人派遣労働者のうち、二五〇名が解雇通告を受け、一月五日には一五〇名が解雇され、一九日には残りの労働者のうち一〇〇名がさらに解雇された。直雇用の外国人労働者たちも残業がなくなり、夜勤がなくなり、実質上の賃金切り下げが行われている。夜勤や残業は、最低賃金で働かせることのできる中国、フィリピンの研修生、実習生にやらせている。

海田の相談会 「死ね」というのか

一月二一日に行なった海田公民館での相談会には、解雇されたブラジル人、ペルー人労働者が一五名参加した。海田地区はブラジル人やペルー人が多く居住しているところである。

アラカキ・ルイスさんはペルー人で平山という派遣会社からユーシンに派遣されていた。ユーシンで働き出してから一年ほどだが、契約期間は来年の八月までであった。雇用保険は入っているが、一緒に住んでいる恋人も同じように解雇され、生活の先行きが見えないという不安で相談に来た。とにかく、「安いアパートと仕事を探したい」失業給付を受けてもその先がどうなるのか、あまりにもひどい仕打ちではないのかと憤りを隠せなかった。彼は、日本に来て十二年になり、日本語も流ちょうように使いこなせる。その彼が新聞社の記者に聞かれて答えた言葉は忘れられない。「僕の故郷はここなんです。それなのに仕事を奪い、住まいも取り上げて何も支えてくれようとしていない。『死ね』と言うのと同じではないですか」。

カナシロ・タチアナさんは同じく平山からユーシンに派遣されていた。彼女はアパートの保証人が平山だったため、一月一日には家を出るよう言われた。後には一月一杯は居てもいいということになったが、引っ越しするあてもないまま、家賃だけは一月の給料から差し引くと言われ、「辞めさせといて、家賃だけは取るというのか」と怒っていた。ただ、新しい住居を探すにも、外国人労働者にとっては厳しい環境があつて、保証人をなんとかしてほしいという要請があつた。

派遣会社の対応 マツダこそ犯人

いくつかの派遣会社と交渉を持った。いつもなら、スクラムユニオンの土屋だと名乗るとどげとげしい感じになるのだが、今回は素直に応じる場所が多かった。解雇問題に関しては、とうぜん派遣会社に一義的な責任がある。しかし、今回の場合は、派遣会社自体が存立に関わる局面に立たされている。これもあながちウソとばかりは言いきれない。

組合から、なんとか雇用責任を果たして、新しい仕事を紹介するように要求しても、「そもそも仕事がないのです」という回答が返ってくる始末である。住居の問題にしても、当面三〜四か月は追い出したりはしません、といった回答であった。雇用保険にしても、かけていないところはさかのぼってかけ、失業給付が受け取れるように協力してきた。すべてを額面どおりには受け止められないが、派遣会社にしても、会社経営にも関わるのであるから深刻に受け止めていると言えるだろう。

現実の構造 派遣先企業

今回の事態の責任は、派遣会社よりも派遣先企業にある。生産調整と称して、いとも簡単に派遣労働者を解雇したのは派遣先企業である。

ユーシンなどは、派遣労働者を正社員にすることはないと、以前から公言していた。二〇〇九年に三年目を迎える派遣社員に関しては、いったん契約を打ち切り、三か月ほどアルバイトをしてもらってから、再度うちに来てもらおうなどと平然と語っていたのである。それが、今回の金融恐慌で生産ががた減りしたのを幸いと一挙に解雇へと向かった。

これまで、忙しい時期にはさんざん働かせ、有給の保障も、残業代の割増賃金も派遣会社に肩代わりさせてきたのが、派遣先企業である。確かに派遣会社はあくどいことをいろいろとやっているが、本丸は派遣先企業にある。派遣先企業の好き勝手なふるまいが、派遣会社を通じて増幅され、最終的に労働者への犠牲となって跳ね返る。これが現実の構造である。

そもそも、これまでの史上空前の利益はどこに行ってしまったのか？ 内部留保を積み重ね、役員報酬を増額し、株主への配当金だけは確保するやり方は許せない。

企業内組合に問う！

そして、もうひとつ、企業内組合の対応である。マツダ労組にしても、ユーシン労組にしても、今回の事態に対して、表だった活動をしていない。せいぜい、就職活動の紹介を行なうといった程度である。これだけ大量の派遣労働者がクビを切られているのに、労働者の権利と利益を守る労働組合がなにをやっているのか！ 自分たちの地位さえ守れば、派遣労働者がどうなってもいいのか！

われわれは、派遣労働者や外国人労働者と接する機会が多く、彼らの抱える問題に対処してきた。その時にいつも感じることは、企業内組合がほとんどかかわりを持たないことである。同じ工場で働く労働者に対して、そこまで冷淡でいられるのはなぜ

なのか？ 労働者の団結を語り、連帯を語る者として、いま一度、自らの存在意義を問いかけるべきではないのか。

(広島 スクラム・ユニオン、土屋 信三)

地方の ささやかで 大きな変革！

―市長選で勝った 大分県豊後大野市から―

合併して何も良いことはなかった

四月五日告示、○九年四月一二日投票の大分県豊後大野市(四万二〇〇〇人)市長選挙には、現職と新人二名が立候補しました。選挙戦は、新人の橋本祐輔氏(五五歳)が、わずか一三二票差で現職に勝利する大激戦となりました。平成の大合併に伴い、"まち"からは、振興局が消え、四つの高校が一つに統合され、二つの公立病院が統廃合されるなど合併の弊害が次々と噴出しました。その過程では、一つひとつに反対する住民運動がおこりましたが、まったく市政には反映されず、住民不在の市政が県や国の権威の前にひれ伏す姿に市民の不満が高まるばかりでした。

労働者を分断し三九億円の新庁舎を計画

豊後大野市の高齢化率は、県下でも二番目に高く、市の周辺部は「限界集落」が無数に横たわっています。そのような町に三九億円(七階建て)の「新庁舎建設計画」がとつじよ発表されました。翌年の四月に市議・市長選挙を控えて市民の反対運動が起ち上がることが予測できたにもかかわらず、市当局は強硬姿勢を貫きました。

これに対して○八年一二月に出馬表明した橋本氏は「新庁舎建設凍結」と「情報公開」を柱に、「住民自治の確立」を明確に打ち出し現職に挑みました。橋本氏は、労働運動に大きな理解を示すと同時に福祉の現場に長く務めた経験を持ち、現在は農業を営んでいます。橋本氏に労働者(組合)の支援が集集することは当然のことと思われるましたが、地元の「連合」と「大分県連合」は、「自民党大分県連」と共に「現職推薦」を決定し、地元平和運動センターは「橋本推薦」を決定するという「分裂」が生じました。

一三二票差は良心の差

今回の市長選挙において、対立点は一点でした。それは、閉鎖的な市政か、開かれた市政かです。言い換えれば「官僚自治」と「住民自治」の闘いでした。「自分たちだけの権益を守る」官僚体質は、なにも霞が関だけにあるものではありません。

労働組合を安全弁にする「労働運動」が、どれだけ日本をダメにしているのかを意識できない労働組合(幹部)は、社会の存在悪となっています。

橋本氏の決意は、組織された労働者よりも「格差社会」の底辺に放置された人々に支持されたといえます。現職は橋本氏の三倍の地盤と「連合&自民党推薦」という矛

盾を振りかざしたあげく、「一二三票」という僅差で敗れました。この票差は一体、何を私たちに教えているのでしょうか・・・？ 地方での、ささやかな？ 大変革でした。

(赤峰 正俊)

◇ 読者からのおたより ◇

春闘 春闘で闘争団と交流会を地区協で開催しました。その中で、JR東は信濃川発電所における河川法違反でベースアップや手当を低くおさえてくるのではないかと、闘争団は政治解決をめざして闘うと話されました。

(埼玉・H)

編集部より JRという会社、本当にいじきたなくなっていましたね。民間大企業の儲け主義、それに鉄道省時代からの「お上」意識が合わされば、あなるのは当然とどなたかがいつてらっしゃいました。地方の中小組合の春闘はこれからです。ご存じ!?

積雪ニメートル四〇センチ 判決前解決に向けて全力をあげています。今(三月はじめ)、音威子府はニメートル四〇センチの雪です。春が待ち遠しいです。(音威子府闘争団・S)

編集部より 「春が待ち遠しい」思いはみな同じ。健康大事にさらに！ 掲載おくれゴメン!

カンパです いつもありがとうございます。一年分プラスささやかながらカンパとしてお送りします。(東京・H)

編集部より カンパありがとうございます。お身体はいかが。そしてお仕事の方も。久しぶりに食事でもいたしましょうか。

入金遅くなりました 二月一日は北九州市議会選挙があり、社民党も現議席を確保することができました。私の選挙区門司区では二名の候補は前回より票を伸ばし勝ち取ることができました。住民の視線に目を向けた地方自治をめざし、共に取り組んでいきたいと思えます。採用差別事件も年度未解決に向け全国津々浦々でさまざまな取り組みがおこなわれています。私も三月四日、東京地裁採用差別国労裁判に参加することになっておりましたが、きゅうきよ入院加療となりました。今ははやく病いに勝ち、早々に復帰し共にがんばっていきたいと思えます。共にガンバロー!!

(北九州市・I)

編集部より 病、克服されましたか。

憲法違反 東京高裁「不当労働行為在るが解雇は有効だ」と。労働法と国鉄改革法の矛盾・無理が露出。明らかな憲法違反だ！ 勝利するまで戦うぞ！(北海道・太田幸一)

編集部より 私たちにできること、いつでもお申し付けを。いよいよ正念場!

残りカンパ 一年分の誌代です。残りは少しですがカンパとさせていただきます。(松山市・H)

編集部より カンパに感謝です

前略 大変に残念ですが貴誌『社会通信』の購読を止めていただきたくお願いします。

年金生活で、しかも二百万足らずの収入で一割強の二十五万(介護、後期高齢者医療、住民、源泉税など)を差し引かれると、生活には全く苦勞なことになり貴誌の僅かな購読料もきつい料金となつてしまいます。

行政機関職員定員法で誠になり、種々の経験の中から社会体制の変革しないかぎり、労働者の人間解放はあり得ない、その心は不変の「座右」ではあります貴誌の購読中止の止むなきになった次第です。今も八十をすぎて再購読の機会があるかどうか懸念されますが、今後ともよろしくお願ひ致します。花冷えの季節、ご健康に留意くださつてご活躍を祈念申しあげます。(神奈川・H)

編集部より ご丁寧なお便りに感謝です。これまでの購読にも心から感謝、ご健康祈ります。「飛翔体」 今日、北朝鮮からミサイルと見られる飛翔体が発射されたとのニュース速報が正午頃伝えられました。まもなく政府の誤報との訂正報道がありました。大変おそろしいことですが、情報を持っているのはアメリカの監視衛星と政府(防衛省)の一部の人だけです。私達には知るすべがありません。イラクに大量破壊兵器がなかったという訂正は戦争を始めてから五年ほど経過してからでした。戦争が起きてしまうのはこのような情報から始まることを忘れてはいけません。

(新潟・K)

編集部より おつしやるとおり。軍事、治安にかかわるものすべてそう。